

食料カンパニー

事業分野

- 食品原料・素材(植物油、大豆、穀物、コーヒー、青果物、畜産物等)
- 食品製造・加工(飼料、砂糖、農産加工品、畜産加工品、業務用チョコレート、大豆加工素材等)
- 中間流通(食品原料の輸入・販売、食品卸等)

カンパニーの強み

- 業界トップクラスの中間流通・リテールネットワーク
- 世界に広がる生鮮3品(農産品、畜産品、水産品)の生産・流通・販売バリューチェーン
- 食糧資源のグローバルサプライチェーン



食料カンパニー プレジデント

貝塚 寛雪



左から

食糧部門長	宮本 秀一
生鮮食品部門長	鯛 健一
食品流通部門長	佐藤 英成
食料カンパニーCFO	相馬 謙一郎
食料経営企画部長	阿部 邦明

「SDGs」への貢献・取組強化の具体例



米国インディアナ州のCGB社 大豆搾油・精製工場



CGB ENTERPRISES 社
SENIOR VICE PRESIDENT
前田 憲哉

米国CGB ENTERPRISES社による大豆搾油・精製工場への投資について

当社の関連会社CGB ENTERPRISES社(CGB社)は、米国ノースダコタ州における大豆搾油工場の新設を決定しました。CGB社は、北米において穀物集荷事業、搾油事業、物流事業等を展開し、食の安定供給を支えています。搾油事業により生産される大豆油は、食用に加え、次世代の航空燃料と期待される石油代替航空燃料(SAF)等のバイオ燃料の原料としての活用も進んでおり、今後更なる需要の増大が見込まれます。CGB社は、大豆油の生産拡大を通じて、米国におけるエネルギー分野の成長も取込みながら、地球環境に優しいクリーンエネルギーの普及に貢献していきます。

事業展開 ※定量データは、Page 136~143をご参照ください。

国内事業損益割合(イメージ)

70%



地域区分: ◆ 国内 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中国・アジア ■ その他海外

* 一般投資先

2021年度レビュー(確実な成果)

- ④ Doleの加工食品事業におけるパイナップル残渣を原料とするクリーンエネルギー活用(バイオガス発電)の推進
- ④ 米国における食用油脂のニーズの変化に対応し、不二製油グループ本社(株)と合併会社設立、北米油脂事業拡大に向け事業基盤を強化
- ④ 味覚や購買情報等の多様なデータを分析・可視化し、食品・飲料の商品開発プロセスの効率化・高度化を支援する新サービス「FOODATA」の展開

成長機会の取込み(持続的な成長)

- ④ 食の安全・安心を担保する生産拠点の拡充と安定的な供給網の整備
- ④ グループの幅広い商品群・機能・ノウハウと新技術を活用し、食料分野における提供価値の多様化を推進
- ④ 消費者ニーズを捉えた高付加価値原料・製品を中心とした海外における事業基盤の拡大
- ④ 食品原料・素材領域での地場産業の育成を通じた雇用拡大・生活環境向上を企図した産地開拓
- ④ 食品流通分野の機能拡充によるバリューチェーンの強化と物流オペレーションの合理化

リスクへの対応(資本コストの低減)

- ④ 天候・疫病リスクを踏まえた産地の多角化による安定的な生鮮食品の供給
- ④ 環境保護や人権を尊重した持続可能な食糧資源の調達体制を強化
- ④ 加工食品事業におけるクリーンエネルギーの活用を通じた環境負荷の低減
- ④ FSMS(食品安全管理システム)の審査に関する国際認証資格保有者を増強
- ④ 第三者機関の認証や取引先独自の行動規範に準拠した調達体制の整備

サステナビリティアクションプランに対応する項目に、該当するマテリアリティのマークを付しています。アクションプランの詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/activity/actionplan/>

- ④ 技術革新による商いの進化
- ④ 気候変動への取組み(脱炭素社会への寄与)
- ④ 働きがいのある職場環境の整備
- ④ 人権の尊重・配慮
- ④ 健康で豊かな生活への貢献
- ④ 安定的な調達・供給
- ④ 確固たるガバナンス体制の堅持